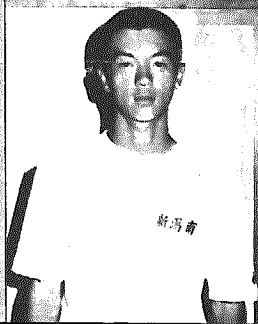
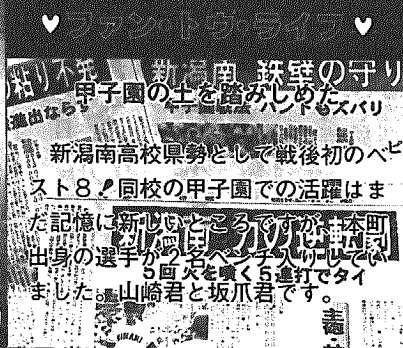
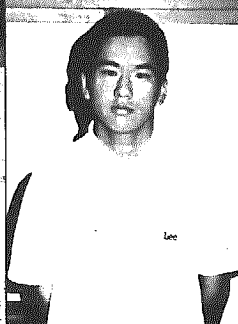


山崎 政史君

三年生。内野手。三回戦の明德戦で先発出場。シヨート8番。一打数〇安打。柳作。牡牛座。B型。



二年生ながらレギュラー。センタ―で二番。フル出場し十打数二安打。諏訪町。水瓶座。B型。

坂爪 正直君

― 最高の夏でした。明德戦では先発で出場できましたし。

― 「先発を言われたのは試合の日の朝なんです。第一試合だったのに。もうどうしようかと思っただけ、よしやってやろうとも」

先発を言われ、よしやってやろう

― 実際にどうでしたか。

― 「守り(シヨート)についていたら地に足がついてない感じ。五回まで出ていて球が一回も来なかった。不思議というかよかったというか(笑)。打撃はピッチャゴロでした」

― 甲子園に行けると思ったのは「新発田農業に勝ったとき(準備)

― 甲子園での活躍おめでとう。野球を始めたのはいつごろから?

― 「小学校のときからです。中学のときも野球部だったけど、全然勝てなくて、まさか甲子園に行けるなんて思ってもみなかった」

― 甲子園を目標にしたのは南校センターで見る

甲子園は広がった

― 入ってからかな。

― 「ええ。やっぱり林さんを見てから。監督も熱心だったし、ひよつとしたら行けるんじゃないかなって」

― 二年生でレギュラー、すごいですね。

々決勝(2-0)です。監督も今年には行くぞと言っていましたし」

― 練習は厳しいと思いますが。

― 「そうでもないです。うちはナイター施設がないから日没までです。土曜、日曜と週に二、三回早朝練習はありますけど」

― 南高校というと進学校ですが、勉強が大変ですね。

― 「これから猛勉強しないと。でも試験はいやじゃなかった。試験のときは練習がないんですよ(笑)」

― 野球部をやめた人も多い?

― 「一年のときは二十四、五人いて今は半分の十二人です。僕は野球が好きだからやめようと思ったことは一度もありません」

― 「いえ。今は肩を壊してるけど守備と足がよかったからだと思います」

― 甲子園の印象はどうでした。

― 「開会前の練習ではそんなでもなかったんだけど、試合で実際に守備についていたらものすごく広くて驚きました。応援席も気になるし」

― 十打数二安打でノーエラー、満足してますか。

― 「はい。最初にヒット(京都西戦一回裏)も打てたし、狙っていた内野安打(明德戦)も決まったし、テレビにも出たし(笑)」

― 勝てると思ってました?

― 「京都西はまあなんとかなるか。でも明德はむずかしい(笑)と思って、

― 今も練習してるんですか。

― 「国体があるので三日に一回ぐらい。しないといふとりますね。それが終わると引退です。」

― 寂しい? 「受験があるから寂しいというより怖い感じですよ」

― 悔いはない?

― 「はい。よかったです」

― 甲子園の土は持ってきました。

― 「友達にあげて少なくなっちゃったけど、自分の分は飾ってます」



お父さんの政吉さん、政史君、お母さんの豊子さん、お姉さんの由美子さん



お父さんの功さん、正直君、お母さんのヤイさん

― 一回に二点取られたでしょ。あつこりやだめだ。それが林さんのホームラン。もう最高でしたな」

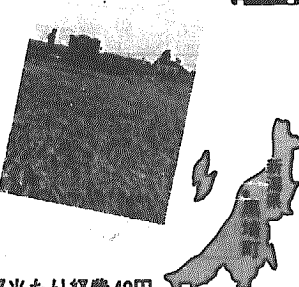
― 野球と勉強、両立してるのかな。

― 「全然してません(笑)。野球だけです」

― これから北信越大会、国体ですね。

― 「がんばります。でも目標は来年の夏です。新発田農が二年連続で行ったから、監督は絶対行こうと言ってるし、僕も行きたいです」

今月の表紙



高遠道路は町にインターチェンジがあるからいいが、新幹線はただ通過するだけでうるさい分だけ迷惑だ、などという声を耳にする。たしかに直接町の利益に結びつくことはないように思えたが、そうでもないようだ。

新幹線高架橋を屋根がわりにしたらイスセンター。全国でも初だそうである。新幹線が建設され始めたときから考えていたという。結果的に予想より安くもないものになったが、それでも五百万円も浮いた。それにこのアイデアが好きだ。本町には7・6キロも高架橋がある。次が楽しみである。



編集室から

もう秋である。あの暑い夏はどこに行ったのか。瞬く間に日々が過ぎ去る。それとともに記憶も消えていく。オリンピック、そして南高の大活躍にテレビの前で拍手かっさいしてたというのに。

それでも黒埼町に今年の夏を一生忘れない人が二人はいる。南高野球部の山崎君と坂爪君である。野球だけ特別扱いするわけではないが、二人に感謝の気持ちでインタビューした。

今号から黒埼町の今昔を本格的に再開したが、幻の旧信濃川に宮田さんは九三年取り組まれ一冊の本になるぐらいの原稿がある。広報用でできるだけわかりやすく編集していきたい。予定は来年三月号までである。乞御期待。